

Title	平成28年度高大連携物理教育セミナー報告書 はじめに
Author(s)	下田, 正; 関山, 明; 杉山, 清寛
Citation	高大連携物理教育セミナー報告書. 2017, 28
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/60523">https://hdl.handle.net/11094/60523</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

## はじめに

大阪大学大学院理学研究科 下田 正  
大阪大学大学院基礎工学研究科 関山 明  
大阪大学全学教育推進機構 杉山清寛

高大連携物理教育セミナーは、高校と大学の先生方が年に1度集まって、理科教育の問題点や教育方法の改善、大学入試に関する課題、高校と大学の教育の接続の問題などを議論するとともに、最新の研究成果を紹介するために、大阪大学理学研究科、基礎工学研究科および全学教育推進機構が協力して開催するものです。このセミナーのルーツは大阪大学基礎工学研究科による「理科と情報数理の教育セミナー」にあります。その後、高校と大学の教員のコミュニケーションの場としての重要性から、理学研究科がこれに加わり、物理分科会は大学教育実践センター主催で行われていた「高大連携物理セミナー」と合体して発展してきました。昨今、高校と大学が協力して解決すべき課題が山積しておりますので、本セミナーのように、高校と大学の先生方が集まって議論し研究することは、重要な意義があります。

本年度は、「高大接続改革での物理教育」というテーマのもとで、本学研究者2名の方々による講義、昨年引き続き基礎工学研究科研究室訪問、そして高校および大学におけるアクティブラーニングについて議論する「高大連携企画」を開催しました。講義では宇宙物理学、物性物理学の2つの分野における最先端の研究をわかりやすく話していただきました。基礎工学研究科研究室訪問では物質創成専攻8研究室の協力のもと、高校の先生方には約1時間半かけて2研究室を見学していただきました。高大連携企画では、高校所属の3名および大学所属の2名の方々に、アクティブラーニングについて現状と将来への展望・要望を語っていただいた後に、参加者全員で活発な議論を行いました。参加者は約50名でした。参加された多くの高等学校の先生方と、大学の関係者の方々に感謝するとともに、このセミナーが更に発展していくことが出来るように、今後とも努力していきたいと思えます。

このセミナーの成功には、熱心な高校の先生方の参加に負うところが大きく、発表してくださった先生方は言うに及ばず、遠路参加していただいた先生方に感謝いたします。また、セミナー開催を支えていただいた両研究科の事務の方々にお礼を申し上げます。